

地域と連携した起業教育の実践事例 ～人とのつながりから生き方を考える～

実践紹介校：荒巻小学校

【実践内容】

高学年の総合的な学習の時間に「荒巻元気アップ作戦」とし、地域商店街やゲストティーチャーの協力を得て地域活性化を目指した活動を行った。本校での起業教育は3年目となり、地域への知名度も徐々に高まってきている。5年生は協力店で体験取材活動を行い、店を紹介するポスターを制作した。6年生では、5年生での経験を生かし、地域をよりPRするためのオリジナルイベントを開催した。児童が交渉し、いただいたサービス券を配付したり、各店舗を回ってもらえるようスタンプラリーを行ったりと地元の商店街を利用してもらえよう活動を行った。児童は「地元を元気にしたい」と様々な角度からアイデアを出し、話し合いを重ねることで自分にはなかった価値観や考え方を知り、自己の生き方を考えることができた。

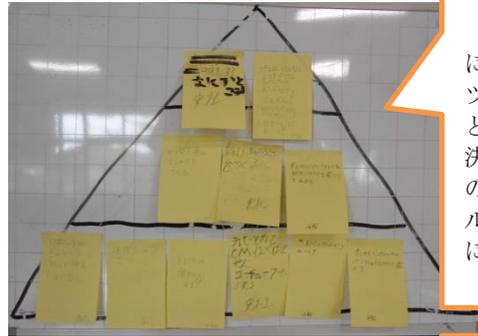
5年生

6年生

現役のコピーライターやデザイナー、編集者の講話を聞き、ポスターの中にある思いや願い、表現の仕方を学んだ。自分たちが気付かない様々な工夫を発見した。



地域活性化のためにできることを思考ツールを活用してまとめ、今後の活動を決定した。話し合いの内容に応じてツールを使い分けるようになった。



協力店で職業体験取材活動を行い、店の方やお客さんとふれあった。普段感じない、店側の考えや工夫、思いや願いを知ることができた。



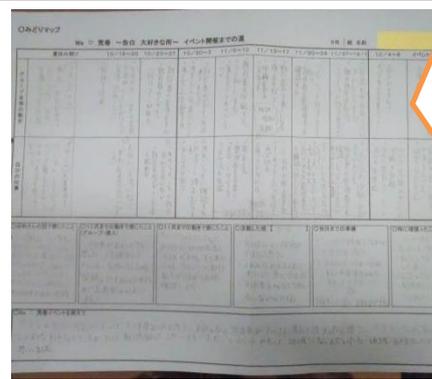
TV取材を受け、知名度が上がり、多くの方に参加していただいた。運営は全て児童が行い、各店舗の協力を得て、成功させることができた。



取材したことを基にポスター作りをした。「誰に、何を告げるのか」をテーマに、制作していった。ゲストティーチャーにアドバイスをいただき完成させた。また、感謝の気持ちを込めての完成発表会も行った。



活動への思いや願い、自分の担当した仕事の内容など記録し、毎回振り返ることで自己肯定感が高まった。(児童の感想から)「今回の活動で荒巻がもっと好きになりました。参加者の立場で考えることが難しかったです。仲間と協力することで乗り越えることができました。」



- ポイント1 「地域を活性化するために」と児童が考えて行動するなど、能動的な行動を取るようになり、他教科や活動へもよい影響が見られた。
- ポイント2 ゲストティーチャーの協力を得て、最新の方法を学ぶことで今までにない価値観や見方を学び、挑戦しようとする意欲が高まった。また、仲間と協力することで、自己有用感を感じて学習するようになった。
- ポイント3 店舗との交渉やゲストティーチャーなど、多くの人と関わる機会があったことで協働的に活動することができるようになった。また、将来の自分を見通した行動も取れるようになってきた。